

ふれあい

2016年 夏季号 vol.63

2016年(平成28年)8月25日発行

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌
TEL : 076-246-5600 FAX : 076-246-3914
石川県野々市市郷町262-2
http://www.nouge.net



病院理念 脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

腰椎変性疾患に対する 外科治療の新しい時代を求めて



病院長
佐藤 秀次

腰部脊柱管狭窄症などの腰椎変性疾患は背椎の老化をもとに発症する病気です。そのため長生きするほど出合いが多くなります。病気との出会いもそうですが、腰椎変性疾患は加齢で進行することから、症状は次第に悪化するので厄介です。

従来、高齢者、特に75歳以上の後期高齢者では、手術治療は対象外とされてきました。この考えは現在も大きく変わっていません。高齢であるから腰に無理をかけないで、やわやわと暮らせば良いとの方針には、それなりの理由があります。高齢者では、腰椎は「治しようがない」くらい変形し、骨粗鬆症や多くの持病を認めることが多いからです。さらに、従来の手術法は高齢者の身体に負担が大き過ぎることも敬遠されてきた理由です。

しかし近年、患者さんの意識は明らかに変わってきました。痛みやしびれが強くなり、歩けなくなっていくことは、高齢者ならずとも大きな不安・苦痛を伴います。進行した結果、自立した生活が困難になったなら、心が痛み、生き甲斐さえ失うことが起こります。今後、独居老人や老夫婦の二人暮らしが増え続けることから、腰椎変性疾患は本人・家族はもとより、地域社会・国家にとっても大きな脅威になります。

私は平成14年から小切開で筒状の開創器と手術顕微鏡を用いたMD法に取り組んできました。MD法は最小の手術侵襲で腰椎変性疾患を治療に導くことができます。私がこの手術を追求してきたのは、技術力を高めることによって、手術が患者さんに与える苦痛を少なくできるからで



す。さらに、高齢者に対して手術治療の道を切り開くためでもありません。早いもので、既に4,000例のMD法を行い、今では若い人と同じく90歳を超える高齢者にも手術治療を行うことができるようになりました。この手術で患者さんが満足できる結果を得るためには、手術技術も大事ですが、神経の障害部位の正確な診断が不可欠になります。今後は、脊椎外科医は診断力と技術力の両方を高めていくことが求められましょう。

「高齢だから諦める」という時代を終わらせ、誰もが腰椎変性疾患を治すことに向かえる新しい時代を切り開いていきたいと思えます。

医療と介護の連携

地域医療福祉部
地域医療連携課

脳卒中になられた方が、地域で安心して質の高い生活を送ることができるように、野々市市と白山市の介護サービスを紹介しています。

今回紹介するのは、『サービス付き高齢者向け住宅』についてです。主に民間企業が運営する施設で、60歳以上の元気な方から介護が必要な方までに住居を提供しています。制限が少なく自由な環境は、自分のペースで生活したい方におすすめです。安否確認や生活相談などのサービスを行っています。

※介護保険の申請については、お住まいの地域の市役所にご相談ください。

野々市市役所（介護長寿課）

076-2227-6066

白山市役所（長寿介護課）

076-2274-9529

地域の事業所紹介

サービス付き高齢者向け住宅
愛SUNSUN・愛SUNSUN 式号館



（特色） 『優しい言葉と笑顔がふれる我が家』を基本理念とし、入居者さんらしい豊かな日々の生活を送ることができる住まいを目指しています。さらに厨房では、地物の食材を中心に、家庭料理のような温かみのある食事を365日提供しています。

（職員） 看護師・介護職員45名（併設のヘルパーステーション愛さんさん・デイサービス愛さんさん・デイサービス野々花との兼任も含む）

（利用者） 57名

（ホーム長（介護福祉士）より）

平成20年に開設した当住宅は、元々は平成12年に居宅介護支援事業所と訪問介護事業所からスタートしました。訪問介護の現場では、利用者さんの状態が悪くなると施設入所となり、何度も寂しい思いを経験していた私にとって、人生の終着点まで寄り添うことができるの

は夢でした。多くの認知症の利用者さんと出会い、本人の苦しみや家族の介護の大変さを感じていた時に、担当していたのが重度の認知症の方です。たとえ重度の認知症であっても、安心して生活できる場所を作りたいと利用者さんのことを思いながら作ったのがこの住宅です。

残念ながら、担当していた利用者さんは別の施設に入所となりましたが、お部屋に、「大好きなヘルパーさん」と書いた私の写真を飾ってくれていると聞き、とてもうれしくて涙が出ました。

（仕事に対する想い）

ターミナルで亡くなった入居者さんで印象的だった方がいます。亡くなる一週間前から急に食べることができなくなり、本人も家族も自然のままに最期を迎えたいと望んでいました。ある日、皆を集めて、「ありがとう」と二人一人にきちんとお礼を伝え、最後に私にも言葉にならないお礼と握手をして、わずか数分後に亡くなりました。それまでは、ご飯が食べられない苦しみや腰が痛いなどもありましたが、最期は眠るように、安らかできれいな顔をしていて、まるでその瞬間がわかっていたかのようでした。

サービス付き高齢者向け住宅は

自由度が高く、施設のように形式的ではなく、お部屋で食事をしたとかお酒を飲みたいという希望も可能です。もちろん安全面で、時々お部屋を訪れるなど気にかけています。あくまでもサービス高齢者向け住宅は住まいの提供がメインですが、こころしたさりげない関わりで少しでもサポートしていきたいと思っています。



サービス付き高齢者向け住宅
愛SUNSUN

住所 石川県野々市市野代町1丁目61

TEL 076-248-7433

愛SUNSUN 式号館

住所 石川県野々市市野代町1丁目50

TEL 076-259-6192

地域医療連携課トピックス

- 2/19・5/27 救急症例検討会
- 4/2 第11回加賀脳卒中地域連携協議会役員会/第11回日本脳卒中医療連携セミナー
- 4/13 耳寄りな講演会【飯田先生】
- 4/23 耳寄りな講演会【佐藤病院長】
- 5/12 第10回加賀脳卒中地域連携協議会総会
- 5/25・5/26・7/31 耳寄りな講演会【櫻井看護師長】
- 6/24 耳寄りな講演会【山本副院長】
- 7/7 第12回加賀脳卒中地域連携協議会役員会
- 8/4 第11回加賀脳卒中地域連携協議会総会

日本の医療提供体制はこう変わる！

その6

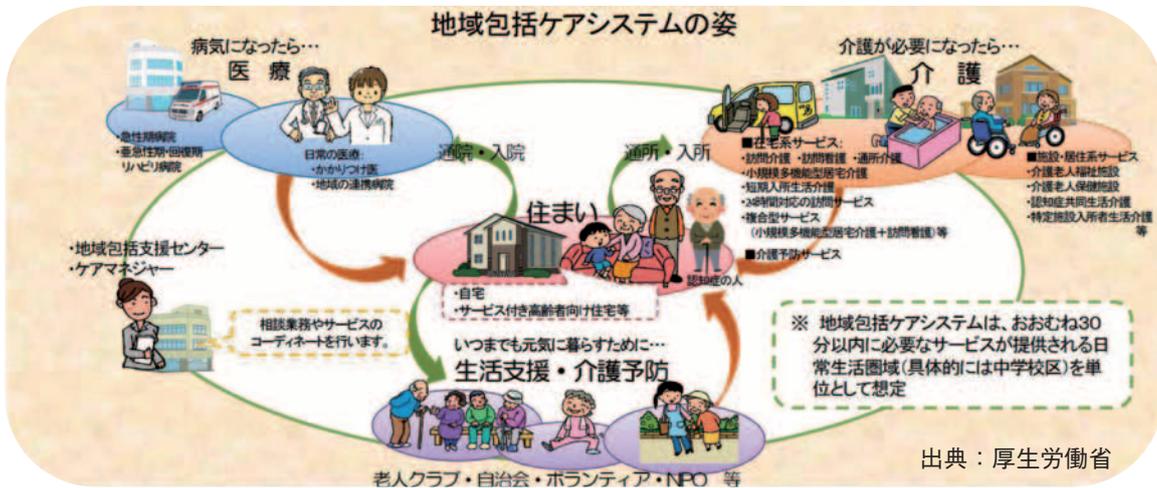
(最終回) 「地域包括ケアシステム」実現に向けて

事務部 経営企画課

これまで、未曾有の超高齢化社会に向かってい日本では、増え続ける医療費を抑えるために、様々な施策が進められているということをお伝えしてきました。前回(平成27年冬号)は、石川県においては、向こう10年で現在の県全体の病床(病院の入院ベッド)数の約3割に及ぶ約4,000床もの病床が、削減されてしまう計画にあることをお示ししました。しかし、私たちが安心して生活していくためには、医療・介護の充実が不可欠です。この矛盾を解決するために、現在国が病床数の削減と同時に進めているのが、「地域包括ケアシステム」の構築です。

「地域包括ケアシステム」とは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を用途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです(下図参照)。今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築は重要です。人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

今回でシリーズ「日本の医療提供体制はこう変わる！」は終了となりますが、シリーズを通して皆様にお伝えしたかったことは、今後、医療・介護を取り巻く環境は短期間で劇的に変化していくということ、そして私たち(医療・介護を提供する側、受ける側双方)は、意識改革も含め、その変化に対応していく必要があるということです。



わくワーク職場体験 看護部

7月5日から7日までの3日間、野々市中学2年生4名が職場体験のために当院を訪れました。



民謡コンサートを開催しました

患者・職員満足向上委員会

夏真っ盛りの8月5日に、「納涼民謡コンサート2016」を開催しました。今年も民謡クラブ「ひばり会」と「晴苗会」の皆さんのご協力のもと、盛大に催すことが出来ました。当日は患者さん、そのご家族など50名を超える方々が足を運んで下さいました。



夏場の水分補給

栄養部
管理栄養士 山岡 愛子

なぜ夏場は特に水分が必要なの？

夏場は気温が上昇し、気がつかないうちに身体から水分が奪われてしまいます。特に夏バテ等で食事量が低下している状態の場合は、食事からの水分量も低下し、脱水の危険性が高くなります。脱水状態になると、熱中症等の症状が現れるだけでなく、脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こす要因の一つともあります。

水分補給のポイント

摂り方

のどの渴きはすでに脱水が始まっている証拠です。渴きを感じてからではなく、感じる前に水分をこまめに摂ることが重要です。

入浴中や就寝中にも汗を多くかいています。そのため、入浴後と就寝前後には水分を摂る習慣を身につけましょう。

選択方法

汗をかいたからスポーツドリンクや経口補水液で水分補給する方も多いと思います。しかし一般的なスポーツドリンクには、500mlでおよそ20〜30gの糖分(スティックシュガー10本分)が含まれます。また、経口補水液には500mlでみそ汁1杯もしくは梅干し中1個分の塩分が含まれます。摂取する場合は、飲む量に注意が必要です。スポーツなどで多量の汗をかき場合以外の生活では、水やお茶での水分補給が良いでしょう。ただし、食事量の低下が見られる時や、発熱・下痢・嘔吐等の症状がある時には、経口補水液等の利用をお勧めします。

水分補給には何をどれくらい飲むのかも重要となります。特に高齢者や小児は脱水になりやすいです。前述の注意点を気をつけて夏場の脱水予防を行ってください。



患者さんコーナー

新潟県在住 匿名希望 様

手術を受けて良かった。

私は平成28年3月に、第5腰椎両側神経根除圧術を受けました。この度は、腰の2度目(同じ場所)の手術でした。初回手術は他の病院で受けましたが、手術後も腰の痛みや足のしびれが続き、年を追う毎に悪化していきました。

初回手術から3年目を迎えたある日、インターネットで院長先生のブログ「脊椎外科医の戦場」が目にとまりました。わらをも縋る思いで閲覧させていただきました。その中で、痛みが持続する主因は精神的なストレスではなく、治療に至らない腰椎の病的状態にあるというお考えと、これまで治療された患者さんで、精神的な問題が原因と最終的に判断された患者さんは、極めて少なかったという内容を見て、私はホッとしました。これまで「手術不応」と言われてきました。地獄に仏とはこのことだと思いました。

院長先生のブログの医療相談室で、私も回答していただきました。丁寧で納得のいく回答に、この病院にお世話になろうと決めました。院長先生なら、痛みとしびれの原因を見つけてくださると、私は昨年の8月に貴院を受診(初診)しました。

病院内は静かで明るく、ホテルのような雰囲気でした。何よりスタッフの方々の親切で丁寧な対応に、感謝の気持ちでいっぱいでした。入院中は大変お世話になりました。

MD法は傷が2.5cm位で、私の場合は、初回に比べて痛みは少なかったです。手術後にリハビリ室で、足趾が温かいと感じ、退院後に電気毛布を使わずに済むなどうれしくなりました。私は鎮痛剤を頂きましたが、痛みがなく、使わなかったという方もいらっしゃいました。

私の場合、痛みや足のしびれはまだ残っていますが、少しずつ良い方向へ向かっていることを感じ、人と比べず、日々の生活の中で体力作りに励んでいます。

